

実践③

「人の技術にお金を使う」

板野町役場産業課
海岸健次

令和元年六月



👑 エシカル消費

人・社会への配慮

自分のために
&
誰かのために

人の技術が詰まった商品を選ぶ

皆さん、今日は、私たちのエシカル消費推進を近くで見えてきた「海岸さん」のお話を聞いてみましょう。海岸さんは、何かにこだわって商品を購入しているそうですよ。それでは、よろしくお願いします。

はじめまして、海岸です。私は、板野町でエシカル消費の推進に励んでいる小磯先生と高畑先生のことを、近くで見守る立場(見てくる教頭先生)として、エシカル消費教室にもお邪魔しています。

私は買い物が好きで、服や靴、文房具から食べ物など…自分の感性にぴったり合う物を探してきました。ずっと大事に使いたくなる“魅力ある物”や、何度も味わいたくなる“おいしい食べ物”を見つけることは、人生を楽しむ方法と思うし、人知れずこだわりを持って選ぶことも、買い物の楽しみ方だと考えています。

それにしても、世の中には本当にたくさんの物が売られていて、同じように見える物でも「異常に高い物」から「嬉しいくらい安い物」まで色々あります。そんな中から選ぶのですから…値段の差にある理由(背景)を知ってから選ぶ、というエシカル消費は、“こだわり(価値観)”と似ている気がするのです。

私が物を選ぶ時のこだわりは、国や物を問わず「人の技術力」です。同じように見える商品も、そこには確かな違いがあり、「人が培い、磨きあげてきた技術」が詰まった物は…**やっぱり良くてできています！**

ですから、私は『**人の技術にお金を使う**』という意識を持ち、良いモノづくりを目指す方を応援しています。皆さんも、目の前にある商品から、その背景を知ろうと思う価値観を、自分の中に持ってみてくださいね。

海岸さん、ありがとうございました。私たちの中にある“こだわり”もエシカル消費につながるんですね。来月も、エシカル消費を実践している方のお話を掲載しますので、ぜひご覧ください。

板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎ 6 7 2 - 5 9 9 4

【ひとくちメモ】

※『もったいない』も、食品ロス削減やリサイクルなどにつながる価値観です。

阿波藍の物語 日本遺産に認定

※藍染め(伝統工芸)製品を選択することもエシカル消費です。

令和元年5月20日(月)、ジャパンプルーとも称される『藍』の背景にある、徳島の文化や歴史的な魅力などが評価され、『阿波藍のストーリー』が文化庁の「日本遺産」に認定されました。この認定は、関連する吉野川流域9市町の文化財などで構成され、板野町では藍染庵と犬伏久助像が構成文化財となっています。

江戸時代中期、犬伏久助は、藍の染(すくも)製法の改良に成功し、阿波藍の発展に貢献しました。



『犬伏久助 像』



『久助像がある藍染庵』



『藍とくしまロゴマーク』

『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。

こだわる教頭先生

高畑先生は変わった

小磯先生が変わった

ワシも…変わる!!

